



# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

2月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

## 「人とのつながり」

校長 岩崎 健治

三寒四温の毎日で、春も間近に感じられるようになりました。日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。今もなお続く新型コロナウイルス感染症拡大が続き、様々な教育活動が制限される中で、保護者、地域の皆様のご理解ご協力により、子どもたちの安全と安心、健康第一で活動ができることに心より感謝申し上げます。

厳しい状況の中、子どもたちは、今まで行ってきた「縦割り活動」や「全校遠足」など「人とのつながり」を大切にしていた教育活動がもてない状況を余儀なくされてきました。

本来、人とかがかわることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぎ、互いの絆を深めることでもあると思います。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さ、について考えていく必要があると思います。

一方で、子どもたちは、人とのつながり、協力する力の大切さを言葉で伝えても、そうそう実感を伴っての理解は難しいと考えます。なによりも周りの大人がそのような生き方をすることで、その中で育つことの大切さがますます重要な社会になってきていると思います。子どもに関わる全ての大人が、この状況でもできる多様なコミュニティーを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもたちに安全、安心できる空間を提供していくことや学校、家庭、地域が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、多くの大切な人との出会いを創っていくことは、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくことにつながります。子どもに関わる全ての大人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子どもたちを柔らかく包むことであり、社会全体でそのものを乗り越えていくことに他ならないと思います。



《玄関側のイヌツゲの赤い実》

これからも可能な限り地域や家庭、学校でできる「人とのつながり」を大切にしたいと考えています。

2月26日には、創立20周年の一環として、子どもたちと先生で、記念式典「バルーンリリース」を校庭で行います。新型コロナウイルス感染症の早い終息を願い、みんなが笑顔になって「夢」や「希望」を未来へとつなげ、願いを込めて大空へ、バルーン（土に戻る素材の風船）を飛ばします。

これからも「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」のもと、安全と安心、健康を第一に子どもたちの確かな成長を支援してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「すべての子どもたちに学びの保障を」～GIGAスクール構想～

文部科学省が実現を目指している「GIGA スクール構想」は、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業などの緊急時においても、ICT（情報通信技術）の活用により全ての子どもたちに学びを保障できる環境を早急を実現することにあります。「GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想」とは「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する」ことを目指しています。横浜市としての具体的な取り組みとして以下のことを進めていきます。

- 一人一台の端末とネット環境の整備として「ロイロノート・スクール」の導入。
- 日頃の授業での活用による「学びの深化」と「学びの転換」が期待。
- 目的に応じた教科書、資料集、ノートとしての活用。文章の校正やプレゼンテーション、プログラミング、動画を使った観察・実験の現象分析等。
- お互いの考えや情報をリアルタイムで共有したり、意見交換したりすることが可能。上記のようなことを「学びの最適化」に向けて準備してまいります。